



2024年3月期 第3四半期 決算説明会

2024年2月1日
BIPROGY株式会社



2024年3月期 第3四半期累計 連結経営成績

- ✓ システムサービスを中心に引き続き堅調に推移し、販管費の増加をカバーし営業利益は23%増益
- ✓ 受注も全般的に好調を維持し、受注高・受注残高とも前年同期比で増加

(単位: 億円)

	2023年3月期 3Q(4-12月)	2024年3月期 3Q(4-12月)	前年同期比	
売上収益	2,300	2,589	+289 (+12.6%)	(売上収益) IT投資への旺盛な需要を背景に、システムサービスやアウトソーシング等の全てのサービスセグメント、および製品販売で増収。
売上総利益	617	687	+70 (+11.3%)	
販管費	△424	△450	△26 (+6.2%)	
その他の収益・費用等	4	5	+1	
営業利益	196	241	+45 (+22.9%)	(営業利益) システムサービスや製品販売等の増収により売上総利益が増益となり、投資強化等による販管費の増加分を吸収し営業利益は増益。収益性も向上。
(営業利益率)	(8.5%)	(9.3%)	(+0.8pt)	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	136	182	+46 (+33.8%)	(当期利益) 営業増益に伴い四半期利益は増益。
調整後営業利益*	193	236	+44 (+22.6%)	
(調整後営業利益率)	(8.4%)	(9.1%)	(+0.8pt)	
受注高	2,286	2,512	+225 (+9.8%)	(受注高・受注残高) 受注高はシステムサービス、アウトソーシングを中心に増加。受注残高はアウトソーシングが着実に増加し、年度内売上予定分も大きく増加。
受注残高	2,503	2,662	+158 (+6.3%)	
(内、年度内売上予定分)	714	787	+73 (+10.2%)	

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

まずはじめに2024年3月期 第3四半期の決算概要についてご説明します。
資料の1ページをご覧ください。

第3四半期の売上収益は、お客様からのIT投資に対する旺盛な需要を背景に、システムサービスやアウトソーシングなどのサービスセグメント全て、加えて製品販売でも大きく増加し、前年同期比289億円増収の2,589億円となりました。

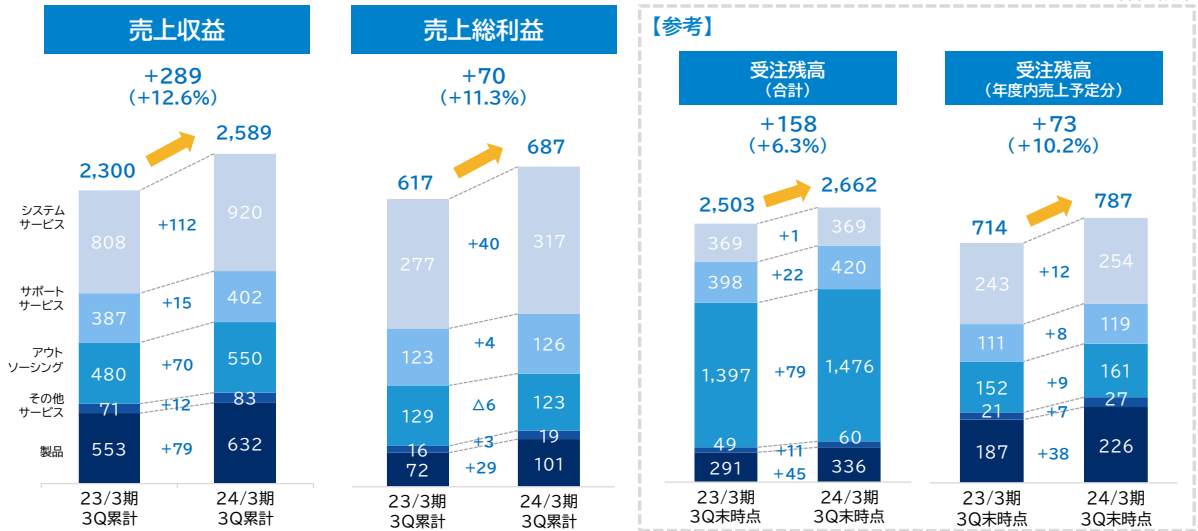
利益面では、販管費が、人件費や研究開発費などで増加した一方で、サービスや製品販売の増収による売上総利益の増加が、販管費の増加分を吸収し、営業利益は前年同期比45億円増益の241億円、調整後営業利益は44億円増益の236億円となりました。
また、当期利益は、営業増益に伴い46億円増益の182億円となっております。

受注高は、第3四半期において、システムサービスでの複数の大型案件獲得や、アウトソーシングも前年第3四半期の大型案件受注の反動減を吸収し、増加するなど、引き続き好調に推移しました。
受注残高は、アウトソーシングの長期案件が増加するとともに、年度内売上予定分も増加しています。

通期見通しの達成に向け、非常に力強い進捗が継続していると考えております。

2024年3月期 第3四半期累計 セグメント別の状況

(単位:億円)



続きまして、セグメント別の状況についてご説明いたします。
資料の2ページをご覧ください。

まず、売上収益、売上総利益については、
システムサービスは、引き続き、金融機関や流通業、製造業などを中心に幅広い業種のお客様からの需要が活況であり、増収増益となりました。
高採算案件の増加や、さらなる生産性改善も寄与し、収益性も向上しております。

アウトソーシングは、他社クラウドサービス売上の増加や、サービス型ビジネスの利用拡大などにより増収となりましたが、運用コスト増加により減益となりました。

受注残高は、主にアウトソーシングで金融機関や地方自治体、製造業向けの長期案件を受注したため、前年同期末比で増加しました。
年度内売上予定分についても、製品販売やアウトソーシングを中心に増加しております。
来期以降の売上につながる受注パイプラインは、足元でしっかりと積み上がっていることから、引き続き堅調に推移すると見込んでおります。

2024年3月期 第3四半期累計 アウトソーシングの状況

【アウトソーシング 売上収益】

(単位:億円)

	2023年3月期 3Q(4-12月)	2024年3月期 3Q(4-12月)	前年同期比
運用受託型	365	360	△5
企業DX型	63	132	+69
(内、他社クラウドサービス売上)	1	38	+37
サービス型(事業創出型)	52	59	+8
売上収益 合計	480	550	+70

【アウトソーシング 受注残高】

(単位:億円)

	2023年3月期 3Q末	2024年3月期 3Q末	前年同期末比
受注残高	1,397	1,476	+79
(内、年度内売上予定分)	152	161	+9

(企業DX型アウトソーシング)

- ✓ 地域金融機関向け利用型勘定系サービス「OptBAE(オプトベイ)」は11金融機関にて稼働中。さらなるユーザー獲得に向けサービスの機能強化を継続中。
- ✓ 「BankVision on Azure」は2023年5月より3行目が稼働を開始。(次年度1Qに4行目が稼働予定)
- ✓ リモートワーク関連の他社クラウドサービスやネットワークサービスの売上が増加。

(サービス型(事業創出型)アウトソーシング)

- ✓ ドライブレコーダーやデジタルコードなどの利用が着実に増加。
- ✓ EC向けプラットフォームサービス「DIGITAL' ATELIER(デジタルアトリエ)」は採用拡大に向けセールス活動を積極展開中。

続きまして、アウトソーシングビジネスの状況についてご説明します。

資料の3ページをご覧ください。

第3四半期も引き続き、「企業DX型」、および「サービス型(事業創出型)」の売上収益は着実に増加しています。

「運用受託型」は、前期の第4四半期を中心に、信用金庫のお客様が従来ご利用いただいていたサービスから「OptBAE」へ順次移行したことや、複数のお客様が「BankVision on Azure」へ移行したことで、売上収益は減収となっておりますが、ユニアデックスが提供する運用受託サービスは堅調に拡大しています。

利益率は、「OptBAE」への移行に伴う、従来の信金向けアウトソーシングサービスの採算性悪化や、昨今の急激なコスト増加により低下していますが、今後、さらに運用効率改善に取り組み、利益率改善に努めてまいります。

「企業DX型」は、「OptBAE」や「BankVision on Azure」の利用行増加や、他社クラウドサービスの売上増加により、売上収益は順調に伸長しています。

今期は、他社クラウドサービスの売上増加や「OptBAE」の機能強化に向けた先行投資などにより利益率は低水準で推移していますが、「OptBAE」は利用顧客の拡大や運用効率改善による収益性の改善に努めるとともに、マネージドサービスへ繋げる取り組みや、プラットフォームサービスの創出を加速することで、利益率向上に取り組んでまいります。

「サービス型(事業創出型)」は、キャッシュレスサービスやドライブレコーダー、環境関連サービスなどの利用が増加していることに加え、EC向けプラットフォームサービス「DIGITAL' ATELIER(デジタルアトリエ)」のユーザー増加などにより売上収益は着実に増加しており、利益率も引き続き高い水準を維持しております。

2024年3月期 通期業績予想

✓ 第3四半期までの進捗等を踏まえ、通期業績予想を上方修正

(単位:億円)

	2023年3月期		2024年3月期			
	実績	今回予想	前期比	期初予想	期初予想比	
売上収益	3,399	3,680	+281 (+8.3%)	3,500	+180 (+5.1%)	
営業利益	297	340	+43 (+14.6%)	325	+15 (+4.6%)	
(営業利益率)	(8.7%)	(9.2%)	(+0.5pt)	(9.3%)	(Δ0.0pt)	
親会社の所有者に帰属する当期利益	202	235	+33 (+16.3%)	220	+15 (+6.8%)	
調整後営業利益*	294	340	+46 (+15.7%)	320	+20 (+6.3%)	
(調整後営業利益率)	(8.6%)	(9.2%)	(+0.6pt)	(9.1%)	(+0.1pt)	

(単位:円)

1株当たり年間配当金	80	95	+15 (+18.8%)	90	+5 (+5.6%)
中間配当金	40	45	+5 (+12.5%)	45	-
期末配当金	40	50	+10 (+25.0%)	45	+5 (+11.1%)
配当性向	(39.8%)	(40.6%)	(+0.8pt)	(41.1%)	(Δ0.5pt)

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

続きまして、2024年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。

資料の4ページをご覧ください。

期初予想に対し順調に進捗していることや、

足元のお客様の投資意欲も旺盛な状況が継続していることから、通期業績予想を上方修正いたしました。

修正後の通期予想は、売上収益は前期比281億円増収の3,680億円、

営業利益は43億円増益の340億円、当期利益は33億円増益の235億円に引き上げております。

なお、調整後営業利益は46億円増益の340億円を予想しております。

また、配当については、当期利益予想235億円を前提に、前期より15円、直近予想より5円増配の95円としております。

今年度は3か年の経営方針の最終年度であり、残り2ヶ月となりますが、次期経営方針期間にうまく繋がるよう、

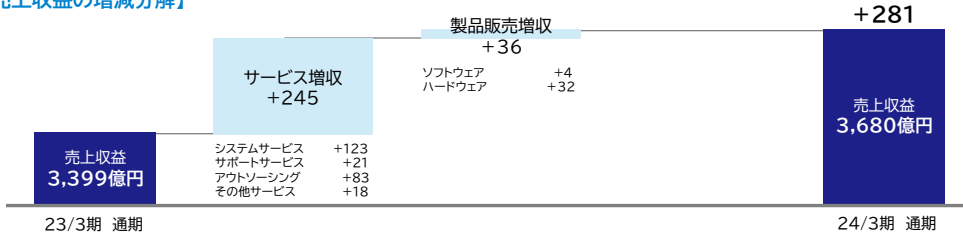
最後まで、業績、受注の両面でしっかりと積み上げていきたいと考えております。

ご説明は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

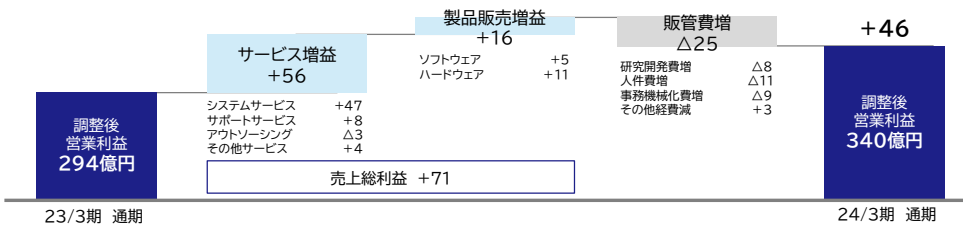
(参考) 2024年3月期 通期業績予想 増減分解

【売上収益の増減分解】

(単位:億円)



【調整後営業利益の増減分解】



本資料に記載の会社名、商品名および商標は、各社の商標または登録商標です。

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があります。当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。